

## 第2号様式（第3関係）

### 第1回豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録（公開用）

#### 1 開催日時

平成28年7月29日（金）午前10時30分から午前11時20分まで

#### 2 開催場所

会議室3・4

#### 3 出席者

##### （1） 委員

高橋 真委員（愛知学泉大学現代マネジメント学部教授）

佐々嘉則委員（名古屋空港ビルディング株式会社代表取締役社長）

川上由郎委員（三菱東京UFJ銀行小牧支店長）

（代理出席 古橋大輔副支店長）

奥本哲巳委員（三菱重工労働組合名古屋航空宇宙システム製作所支部副会長）

船橋和志委員（株式会社小牧サービス代表取締役）

櫛田和裕委員（尾張中央農業協同組合豊場支店長）

中山 拓委員（学校法人豊山学園 園長）

池山由宣委員（豊山町まちづくりサポーター）

##### （2） 事務局

総務部長 安藤光男

総務課長 小川徹也

総務課企画財政・情報係長 井上武

総務課企画財政・情報係主査 牧野礼男

#### 4 議題

（1） 推進会議設置の趣旨、所掌事務、スケジュール等について

（2） 地方創生先行型交付金により昨年度実施した事業について

（3） 地方創生加速化交付金により今年度実施する事業について

#### 5 会議資料

資料1 推進会議設置の趣旨、所掌事務、スケジュール等について

資料2 地方創生先行型交付金により昨年度実施した事業について  
豊山町みどころガイド

資料3 地方創生加速化交付金により今年度実施する事業について  
参考資料 豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱  
豊山町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 6 議事内容

### (1) 町長挨拶

会議にご参集いただいたことに感謝申し上げます。

昨年度、有識者の皆様からご意見をいただきながら、豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。本町は、我が国唯一の国産小型ジェット機最終組立地であり、来年には愛知県による航空展示施設も完成する予定である。他にないこれらの強みを活かし、交流人口の拡大、にぎわいづくりを促すための取組を、国の交付金を効果的に活用しながら推進してまいりたい。

今回の会議は、これらの事業実施に当たり、有識者の皆さまから専門的見地からの御意見を賜るものである。忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

### (2) 会長・副会長選出

### (3) 会長挨拶

豊山町は大きな自治体ではないものの、他の自治体に比べて非常に有力なカードがある。どこでそのカードを使って勝負するかということだと思う。今回、国から4千万ほどの交付金を得ているので、それを豊山町の明日に向かって活用していくことをこの会議で確認しながら進めていきたい。皆さまの忌憚のないご意見を反映できるものと思っているので、よろしくお願ひしたい。

### (4) 議題

① 推進会議設置の趣旨、所掌事務、スケジュール等について  
事務局：説明（資料1）

② 地方創生先行型交付金により昨年度実施した事業について  
事務局：説明（資料2）

③ 地方創生加速化交付金により今年度実施する事業について

事務局：説明（資料3）

（質疑）

A委員：地方創生加速化交付金により今年度実施する事業について、予算額が4千万円で、契約済額は2,100万円ほど。残りの2千万円はどのように活用するのか。

事務局：バスロケーションシステムや、観光・防災機能のアプリケーションの整備に活用する。

B委員：Wi-Fi環境は、町の施設は町で整備するとして、県や事業者の施設についてはどのようにお考えか。

事務局：県や事業者の方との会議を立ち上げさせていただいて、情報交換・調整していきたいと考えている。

B委員：協力できることはしていく。足並みをそろえていったほうが、来られる方の利用価値も上がると思う。

会 長：winwinの関係になるのが最もよい。

C委員：事業者との連携が重要である。初期の段階から関係者に話をさせていただきながら進めていただければと思う。

D委員：これから観光事業を進めていくなかで、協力できることはしてまいりたい。

B委員：一生懸命考えられていてよいと思う。自治体と町民と企業の3つが連携していくことが大切。もしハードルがあって、手伝えることがあれば、言っていただければと思う。

E委員：プロモーションビデオやポスターのような良いものを作られていると思うので、もっとアピールする方法があるのではと思う。フェイスブック、ライン、ユーチューブなども活用していくべき。長野県の自治体の中には、フェイスブックでPR動画を流しているところもある。フェイスブックを見もらうためには、更新を頻繁にしないといけない。

F委員：プロモーションビデオを作って流して終わりではなく、これからもPRを続けていく必要がある。豊山町に来ていただくための公共交通の整備についても検討していくべき。

A委員：プロモーションビデオを見られる人が限定的なので、インターネットなどを使って発信していくことが必要。ターゲットを確認して流していけばよいと思う。また、まちの活性化をどのような発想で行うか。一つの例として、先日、尾張旭市の職員と話をする機会があった。住みやすさ全国2位のまちで、人口分布も若い人が多いものの、市長は、50年後を見据えたときの高齢化を懸念している。市民と市役所が一体となってまちづくりを進めるために、「たつせがある課」を設けているという話だっ

た。先ほど、まちづくりサポーターのNPO化という話もあったが、そういうことを加速して周知していくことがまちの活性化につながると思う。

G委員：ミュージアムに関しても、PRが足りない。官民の連携をとろうと思うと、町民の認知が足りない。タウンバスの中でプロモーションビデオを流すなど、町民の目に触れるようなプロモートをお願いしたい。

会 長：委員のご意見について、事務局のほうはいかがか。

事務局：公共交通網の件につきましては、ほかの担当部署で事業実施している。インターネットを使用したPRについては、今後対応していきたい。タウンバスの中での動画放映についても、運行事業者と調整して、できればその方向で検討していきたい。

会 長：進捗状況その他について、情報をこまめに発信していただくことが、自治体・町民・企業とのコラボレーションを進めていく上で、非常に重要と思う。今後、そのような方向で進めていただけると思う。その他、何かあれば。

G委員：町民へのPRについては、単に発信するだけでないほうがよい。観光推進に関しては、治安の問題など、手放しで歓迎しているわけではない町民もいる。町民の理解を求める方向でのアプローチをしていただきたい。

会 長：町民へのケアも必要。

#### (5) その他

事務局：今後の予定について、次回会議を3月に開催する。